

雄武町図書館を考える会会議議事録（第6回）

【開催要領】

- 1 開催日時 平成24年12月3日（月）19:00～21:10
- 2 場 所 地域交流センター 1階多目的ホール
- 3 出席者 12人

《考える会委員》

細田 尚孝 委員	加藤 洋美 委員	牧野 京子 委員
小田 嘉幸 委員	城地 剛 委員	本多 芳秋 委員
清水 伸一 委員	久保 静枝 委員	金子 徳郎 委員
笹原 和広 委員	樫山 優子 委員	中村 葉子 委員

【会議次第】

- 1 開 会（事務局）
- 2 会長挨拶
- 3 議 事

【確認事項】

- （1）第5回会議の振り返りについて

【協議事項】

- （1）ワークショップ意見の検証・協議
 - ①アドバイザーからの助言内容の検証
 - ②ワークショップ意見（ソフト面）の検証
 - ③ワークショップ意見（ハード面）の検証

- 4 閉 会

【配付資料】

- 資料1 第5回雄武町図書館を考える会会議議事録
- 資料2 第5回雄武町図書館を考える会会議
「ワークショップ意見の検証・協議①」ワークショップ結果報告
- 資料3 アドバイザーメモ
- 資料4 これまでの会議内容経過
- 資料5 図書館のあり方に関する提言事項事例

【概 要】

1 開 会（事務局）

2 会長挨拶

皆さん、お晩でございます。本日、第6回目の雄武町図書館を考える会会議を開催できますこと嬉しく思っております。皆さんのご協力で、図書館を考えるということで142項目の方策が出され、前回はそれらに対し付け足し・質問事項ということで、さらに43項目の意見が出され、全部で185項目となりました。これだけ出されたということで安心しております。本日もワークショップということで皆さんからご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

3 議 事（会長による進行）

【確認事項】

（1）第5回会議の振り返りについて

（会 長）

それでは進めて参ります。早速ですが確認事項ということで、第5回会議の振り返りについて事務局より説明をお願いいたします。

（事務局）

第5回会議の振り返りの前に、事前に送付させていただいております資料についてご確認させていただきます。

まず、本日の会議の会議次第、資料1としまして、第5回会議の議事録であります。

資料2としまして、第4回会議で「私のつくる図書館」をテーマとしてワークショップを行い、ソフト面及びハード面について委員の皆さんに意見を出していただきましたが、第5回会議においてその意見に対して「賛成」若しくは「こうしたら良いのでは」というような建設的な意見を出していただき、それぞれ青色と黄色の付箋に書き出していただきました。その結果が資料2であります。

資料3としまして、これまでの会議で行いましたワークショップ結果及び第5回会議で行いましたワークショップ結果に対しまして、アドバイザーである糸賀教授にご助言いただきました内容のものであります。

資料4であります。第1回会議から第5回会議の内容を簡潔に記載したものであります。

資料5であります。各自治体における「図書館のあり方」についての提言内容を記載したものであります。道内自治体の事例をとりましたが検索できず、主に道外の自治体の事例を記載してあります。今後、提言事項をまとめていくこととなりますが、あくまで参考ということでご留意ください。

本日、「第6回雄武町図書館を考える会」と題して、進行、座席等を記したペーパーをお配りしています。本日の協議に使用するホワイトボードに貼ってあるペーパーについては、2枚目・3枚目を拡大したものでありますのでご留意ください。以上、資料についてご確認させていただきました。

それでは、確認事項ということで、第5回会議の振り返りについて説明させていただきます。資料1の議事録、資料3のアドバイザーメモ、資料4のこれまでの会議内容経過にも関連しますが、前回の会議では、第4回会議で行いましたワークショップにおいて、「私のつくる図書館」「どんな図書館をつくりませんか」をテーマにソフト面及びハード面について、委員の皆さんに出していただいた意見に対して、「賛成」「付け足し」という意見は青色の付箋で、一方で「疑問」「こうしたら良いのでは」というような建設的な意見は黄色の付箋に書き出していただきました。

その後、これまでのワークショップ協議に対してアドバイザーから、これから申し上げます内容の助言をいただきました。

- 図書館は開いてさえいれば、自分の都合の良い曜日・時間帯に使えることから、他の社会教育施設に比べて図書館ほどリピーターが多い施設はない。
- 「施設」「資料」「施設と資料をつなぐ職員」という図書館の3要素において、職員の力量が大きなウェイトを持つ。職員が優秀であれば、きちんと資料も選ばれる。
- 図書館の利用は無料、いつ・誰と行ってもそれぞれに居場所があるのが図書館。
- 年間にどれだけ本を買い足せるかが重要。常に新しい情報を入れ、そのために職員が配置され、職員もレベルアップし、常に新しい知識や技術を持てる条件を整えるべき。

また、第5回会議ワークショップ協議に対してアドバイザーから、これから申し上げます内容の助言をいただきました。

- 雄武町で出されている行政資料、例えば議会の記録・町広報紙・町からのお知らせなどの地域資料はすべて図書館が持つべき。
- 雄武町で出されたものはすべて図書館に納める「納本条例」を定めるべき。例えば、学校が出して父兄に配るようなもの、道東・オホーツク、雄武について書かれたもの、雄武にゆかりのある人が書いたものなど・・・。
- 雄武町の規模の中での産業（商業）構造を考えた時、図書館に軽食コーナーを開設することは、民業圧迫の可能性は否定できない。
- 視聴覚資料について、民間のレンタル業者と同じ品揃えをするなら、税金を投入してやるべきではない。

- 本の保管について、直射日光が当たる場所では本の劣化が早い。
- 一定のスペースが確保されれば、人の動く動線によってスペースが振り分けられる。完全に壁で仕切るのではなく、書架棚によって仕切るべき。
- 防音について、床はフローリングではなくカーペットが効果的。
- 広報の最大の効果が得られるものは利用者の口コミ、行き届いたサービス・イベントが充実していれば必ず評判は広がりを見せる。図書館のサポーターズクラブを立ち上げて図書館のことを広げていくこともコストのかからない広報の1つ。
- 図書館から出向くサービスが重要。小中学校での調べ学習への情報提供、高齢者施設へ出向いての学び・遊び等を一緒に行う、民間施設への本の配置など。
- 仕事の上で必要なこと、生活をしていく上で必要なこと、住民にとってどういう時に使える施設であって欲しいのか、住民の期待をどんどん引き出していくのが図書館であり、それを実現するために何が求められているのかを十分認識する必要がある。

以上の内容がアドバイザーからの助言であり、振り返りとして確認させていただきたいと思います。

(会 長)

只今、第5回会議の振り返りということで事務局から説明がありましたが、何かありましたらお願いいたします。

無いようですので、次の協議事項に入っていきたいと思います。

【協議事項】

(1) ワークショップ意見の検証・協議

- ①アドバイザーからの助言内容の検証
- ②ワークショップ意見（ソフト面）の検証
- ③ワークショップ意見（ハード面）の検証

(会 長)

それでは、第3回から第5回までの雄武町図書館を考える会会議で、皆さんから「私のつくる図書館」ということで全部で142項目の意見をいただきました。そして前回の会議でそれらに付け足したら良いという項目を緑色で書いてあります。ちょっと疑問だなという項目が黄色で、これらを合わせて43項目、全部で185項目になります。赤色の項目もありますが、これは前回アドバイザーからいただいた助言を照らし合わせてみて、改めて確認した方が良いと思われる項目です。今日はこのことについて確認していきたいと思います。今日の確認が終わりましたら、これが初めて文章化され、提言の1番大事な骨組みの部分になりますので、ご協力お願

いたします。

今日の進め方ですが、3本の柱で進めていきたいと思います。1つ目は、前回アドバイザーから助言いただいた内容について、それで良いのかどうか確認したいと思います。2つ目は、「私のつくる図書館」のソフト面について、3つ目は、「私のつくる図書館」のハード面について、付箋の貼っております50項目について1つ1つ確認していきたいと思います。

(委員)

スケジュールの説明が後でされると思いますが、会議についてはあと3回の開催でよろしいでしょうか。

(事務局)

今日の会議の内容に基づき提言の叩き台を作成し、次回の会議で協議・修文し、さらに、1月の会議で再度アドバイザーを招聘し内容について助言をいただき、委員の皆さんにご協議いただき、必要の都度修文し確定としたいと考えております。

(委員)

そうしますと、素案ができて、全体で協議するには年末年始を挟みますので、それほど時間が無いように思いますが如何でしょうか。

(事務局)

常時、ご意見をいただいて修文していきたいと思います。

(委員)

これから協議が進められる3つの柱と、事務局で作る素案はきっちりリンクする形になるのでしょうか。

条例だとか、新築するかどうかというところがこの会の機能面も含めての落とし所ですよね。3つの柱であれば、素案の段階まで持って行けないような気がします。如何でしょうか。

(事務局)

今日の会議で出された意見を絞り込んで素案を作成し、次回の会議でご提示して、ハード面については現在の施設の課題も含めて検討ということで、新設するかどうかについてまとめたいと思います。

(委員)

第3回目の会議で、教育委員会としては「あくまで建てることについては白紙」ということをおっしゃっていましたが、そういうことで確認しましたよね。

今の図書館の現状はどうであるかということ洗い出すということで、ワークショップをやってきましたよね。図書館を作るという流れであれば、自分も勉強不足だったということと、糸賀先生の助言の中で、図書館友の会があれば良いということをおっしゃっていましたが、図書館に必要なものについて話し合ってきましたか、あくまで建てるのは白紙という中で、

仮に建てる必要があるという提言の内容になった場合、今度はその後の段階で、建てるという前提で勉強会であったり、今日のような作業の場を提供する考えを教育委員会は持っているのかどうかお聞きしたいのですが。

(教育長)

今の図書館は色々な課題があり、図書館としての機能が十分ではないと思っていますが、新たに建てるのか、改修するのか、今の図書館の中で機能を充実させていくのか、それらの意見をいただいて今後の図書館をどうしていくのかということで皆さんからご意見をいただきたいということで開催しております。総合計画の策定委員の方からも、図書館を考える会の提言内容を尊重し対応してほしいという意見もあったようですので、提言があった時には、皆さんの意見を十分尊重する形で進めていきたいと思っています。

図書館を建て替えるべきだという意見が出た時には、図書館を考える会のような組織を作って、どういう風にしたら図書館が良くなるのかということについては、これから行われるワークショップの中でも意見が出されると思っていますので、それらをみながら考えていきたいと思っています。

(委員)

今までの話を聞いていると後退したように感じる。当初、建てる建てないは白紙ということで進んできたのは事実だが、会を重ねるうちに建てるという流れの中で色々なアイデアが出されワークショップを通して、単に今の施設を継続するというのではなく、仮に町が新しい図書館を作るとなった場合、せつかくこういう組織ができたのだから、このメンバーになるかは別として、さらに図書館を充実させるために色々と意見を聞いて進めていきたいということだと思う。ということで前進が見えないような気がする。

(教育長)

確かに考える会で話されている内容は、図書館を建て替えるような方向性で進んでいると思います。教育委員会としても、今の施設が十分であるという認識は持っておりませんので、そういう提言をいただければ町長と話し合いを持つ機会をと考えています。ですから、考え方が当初より変わったということではありません。

(委員)

わかりました。

(会長)

これから進めていきますが、プリントが3枚ありまして2枚目にソフト面それからハード面と書いたペーパー、それを中心に進めたいと思います。まず、ソフト面の1番下の所にアドバイザーからの助言1、助言2、があ

ります。先ほども事務局から説明がありましたが、キーワードを書いてありますので読み上げます。アドバイザーからの助言1として、「施設・資料・職員の構成は1対2対7」「貸出密度」「無料原則」「1人でも居場所がある」「リピーターを増やす」、アドバイザーからの助言2として、「郷土資料は地域資料」「納本条例が必要」「民業の圧迫を避ける」「DVDの民間との棲み分け」「BGMを流す図書館がある」「図書館からの出前」「本の置き場所は日当たりの悪い所が良い」「人の動線を考える」「本棚で仕切るレイアウト」「どういう時に使われるかを考える」「情報の相談役である」「クチコミの方法がある」ということで、アドバイザーからの助言に対し何かありましたらお願いいたします。

(委員)

施設・資料・職員の構成の関係で、都会の図書館であれば施設に関しても充実しているだろうし、資料に関しても予算があるだろうから図書が集まると思うが、職員を多くすれば機能が充実するとは限らない。そんなに大きな図書館を考えるべきではないと思うので、そうすれば必然的に限られた人数で対応していかなければならない。むしろ、職員の人数ではなく、資質を高めることが必要で、アドバイザーの示した比率には違和感がある。

(委員)

今の職員の部分でアドバイザーがおっしゃったのは、質ということを求めているのではないですか。そうですね。従って、機能面で重要となる部分の「情報の相談役」というのは、言い換えれば「地域のコーディネーター」ですね。その役割が重要だと。ですから、この部分と職員の質がリンクしないと機能面では充実しないということだと思います。そうですね。

(委員)

建設するという判断がしっかり出来上がっていないとソフト面・ハード面の内容に入っても話がまとまらないと思う。最初にこの会に求められたのは、新しい図書館が必要かどうかということで、そこを皆さんで話し合っ、はっきりとした結論を出すことが必要だと思います。建設する方向で進んでいるのかなと思っていたんですが、先ほどの教育委員会の話を聞いていると、それもまだはっきりしていないという気がします。

(会長)

それでは、私のつくる図書館・ソフト面に入っていきたいと思います。まず、イベントのときの職員の資質についてどちらでしょうか。お願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(委員)

ちょっとよろしいですか。今、人数によって分けていますよね。そうすると、提言の素案にはどういう形で盛り込まれるのか。例えば、6対5で、反対が5だったとしますよね。その場合、5人の意見は提言から外されるんですか。あくまで、素案を作る上での判断材料ということですよ。

(教育長)

提言書にこういう反対意見があったということ載せるべき、載せなくてもいいということも考える会で検討していただくべきだと思いますが、少数意見であっても、それを取り除いて提言することにはならないと思いますので、反対意見もあったが、考える会としての結果はこういうものだという提言をいただければと思います。

(委員)

ワークショップで意見が出ているんですが、それはちょっと無理だなと思われるものも提言書に全部出すんですよ。本来であれば、そういったものは置いておいて進めていくのが正当だと思います。賛成の人の考え方、反対の人の考え方もある中で、ただ数字として把握されるだけであつたら、今日の会議の存在が希薄になってしまい、もう少し違ったやり方の選択肢はないのかなと思います。

(委員)

意志表明という意味で考えているだけで、6対5でこっちに決めましょうということではなく、意見を全部出していく中で、中には相反する意見もあったということですよ。

(委員)

事務局の話では、素案の中に載せるということだから、最終的には反対が多かった意見については整理される訳ですよ。

(委員)

ただ1つの手段としてそれもいたしかたないのかなと思いますが、6対5で必ずしも6で決まるということではなく、意志表明ということで私は捉えています。

(委員)

皆さんで考えて決めてきたことですよ。ソフト面・ハード面について、ただ数だけで分けるのではなく、自分はこう思うのでちょっと疑問だなという部分も書き添えていただきたいと思います。

(会長)

今ここに約180項目の意見がありますが、本来であれば1つ1つ確認していかなければならないんですが、それをやるとすごく時間がかかってしまうので、どういう意見があるか、1人の意見なのか、多くの方の意見なのか確認しなければならないと思います。よろしいでしょうか。

それでは、借本しやすいシステムについては如何でしょうか。

(委員一同)

(そう思う 7人、そう思わない 4人)

(会長)

続いて、文化の拠点、オホーツクのオアシスにということで、月に何回か色々なイベントが開催できる、少しでも町の人が足を運べる、行きたい意識が持てる、それが本当にできるのかという意味ですが、よろしく願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 9人、そう思わない 2人)

(会長)

続いて、ここはまとめていきたいと思いますが、リピーター増を定着させる対応として、仕事の休みの日に開館してほしい、開館の時間帯を延長するなど、利用者が使いやすいようにしてほしい、それで、現在は日曜開館、夜は7時まで開館しているということですが、これについてご意見を伺いたいと思います。

(委員)

日曜日の利用状況はどうですか。

(事務局)

日によってムラはありますが、多い日で60人、貸出冊数が200冊、少ない日で30人、貸出冊数が70冊で、主に親子連れの方の利用が多いです。

(委員)

意外と利用されているんですね。

(事務局)

はい。

(委員)

今、皆さんに意見を求めているのは日曜日の休みの部分と時間の部分ですよね。そうしますと、この部分というのは、事務局はデータを押しえられていますよね。そのデータの中で住民の方に不便をおかけしているということはありませんか。そのデータが、この協議の1番いい判断材料になると思うんですが。時間帯と休日の部分で、現在、十分カバーされていますか。それは、データを把握する部分と受付の感触で十分わかりますでしょ。

(事務局)

それはカバーできていると思います。ただ、仕事帰りに利用したいという要望は確かにありますが、夜遅くまで開けていても中々利用が無いという状況だと思います。近隣の興部や紋別もやっていたんですが、興部は利用が無いということでやめています。夜間の利用が少ないということと、

図書館によって、地域によって人の動きが違いますから、例えば、北見周辺の町になりますと、土・日曜日はほとんど北見に住んでいるので利用が無く、月曜日を開けて日曜日を休みにしているということで、その地域によって状況は変わってくると思います。

雄武町では、月曜日に仕事が休みという方はほとんどいらっしゃらないと思いますので、土・日開けるのが正解だと思います。

もっと早い時間にとか、夜遅くまでという要望はありますが、時間を延ばしたからといって利用が増えるという訳ではなく、利用される方においては、より自分の使いやすい時間帯に動くだけであり、人員配置や光熱費など色々なことを考えた時に手を出しにくいと思います。もちろん、サービスの向上にはなるんですが。

(委員)

今、事務局から話がありましたがその通りだと思います。サービスを拡大するだけではなく、住民の方も我慢すべきところは我慢し、歩み寄ることで利用率を上げるというところが落としどころになると思います。

(会長)

今の話の中で、効率良く運営されているということですね。

(会長)

専門ということで、職員の資質が大事だということについて如何でしょうか。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会長)

続いて、サービスに移ります。読書会についてどうなのということだと思いますが、ご意見をいただきたいと思います。

(委員)

私、読書感想文コンクールの審査員をさせていただいたんですが、今年初めて高校生が応募されていて、山月記だとか山椒大夫とかの感想文が出されていました。授業で取り上げて解釈していったんだと思いながら感想文を読んでいたんですが、図書館と連携して、好きな人だけで集まるのもいいんですが、ただ読むのではなく、古典の解釈として内容を共有するというのも良いと思いました。私の話を聞いてどなたかが読書会とおっしゃったんだと思います。

(会長)

そういう意味での読書会について如何でしょうか。

(委員一同)

(そう思う 8人、そう思わない 3人)

(会 長)

続いて、システムの充実によるスペースの効果的利用については如何でしょうか。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会 長)

続いて、図書館便りの発行について如何でしょうか。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会 長)

同じくサービスとして、職員の資質が大事ではないかということについては如何でしょうか

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会 長)

出前サービスと書いてあります。これはアドバイザーからの助言ですが、出前サービスをやった方がいいのではないかという方、如何でしょうか。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会 長)

それでは、ハード面に入っていきたいと思います。まず、ゆとりということで、玄関は広く明るいスペースが良いということです。ご意見をいただきたいと思います。

(委 員)

やはり、玄関は広いスペースが必要ではないでしょうか。

(会 長)

広くなくても普通で良いという方は、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 10人、そう思わない 1人)

(会 長)

それから、アロマを焚くというのがありました。あと、アドバイザーの助言の中にBGMを流しているというのがありました。

アロマについて、必要ないという方、お願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 10人、そう思わない 1人)

(会 長)

BGMがあった方が良いという方は、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 2人、そう思わない 9人)

(会長)

続いて、解放感というところで、大きな窓ということですが、アドバイザーからは、本が傷まないようにするには日当たりが悪い場所に本を置くという助言がありました。ご意見をお願いいたします。

(委員)

明るいことは良いことですが、本が傷まないように配慮することです。当然だと思います。

(会長)

明るいのはもちろん良いが、本のある所は日が当たらないように工夫するに賛成の方、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 10人、そう思わない 1人)

(会長)

次に、快適ということで、エアコンについてです。エアコンがあった方が良いという方は青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 7人、そう思わない 4人)

(会長)

次に、安心について、すべてにおいて適正な規模をとということです。これについてはよろしいですね。それから、多機能の部分でもすべてにおいて適正な規模をとというのがありました。

次に、アドバイザーの助言ですが、本棚で仕切ることについて、ご意見をお伺いいたします。

それでは、本棚で仕切ることについて賛成の方は、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会長)

続いて、お話し部屋や赤ちゃん部屋、ゲーム部屋というのがありました。まず、お話し部屋については如何でしょうか。

(委員一同)

(そう思う 5人、そう思わない 6人)

(会長)

続いて、赤ちゃん部屋について、あった方が良いという方は青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 3人、そう思わない 8人)

(会 長)

続いて、ゲーム部屋について、あった方が良いという方は青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 0人、そう思わない 11人)

(会 長)

続いて、便利の部分に移ります。ここでは、図書館以外の返却場所を設けたらどうかということですが、設けた方が良いという方は青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会 長)

続いて、図書館のスペースを広くということに賛成の方、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会 長)

続いて、同じくスペースの関係で、座って本を読めるスペースをということに賛成の方、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会 長)

続いて、附属施設について、ここでは、アドバイザーは、郷土資料というのは、例えば、学校の文集だとか、雄武町に関するすべての資料と言っておられました。私、郷土資料というのは博物館にあるような物だと思っていました。まず、郷土資料とはどういった物かということについて確認したいと思います。ご意見をいただきたいと思います。ここで考えるのは、本の郷土資料ということによろしいですか。

(委 員)

最初に、郷土資料を展示するというのがあったのでは。

(会 長)

それでは、両方で考えていきたいと思います。まず、博物館にあるような物を郷土資料室を作って展示した方が良いという方、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会 長)

本について、本棚で保管した方が良いという方、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 5人、そう思わない 6人)

(会 長)

アドバイザーから、民業の圧迫を避けるということが言われました。今までのワークショップで、軽食喫茶を利用できる方が良いという意見があったんですが、ご意見をいただきたいと思います。

(委 員)

今は、民間業者が充実しており宅配もあるので、公共図書館にはいらないと思う。

(会 長)

それは、DVDのことですね。

(委 員)

ビデオやDVD資料を見ることができるスペースとして、1人～2人分ぐらいはあった方が良くと思います。

(会 長)

軽食喫茶についてですが、如何でしょうか。

(委 員)

大きな町であれば、考えられると思いますが。

(会 長)

軽食喫茶はいらないと思う方、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会 長)

CD・DVDについては、先ほどご意見をいただきましたが、アドバイザーからも民間で貸し出しているの、いらないというお話もありましたが。

(委 員)

レンタル店に置いていない、美術的・芸術的な分野の物など、民間とだぶらない物、民間に置いていないものであれば良いと思う。

(会 長)

民間に置いていないような物を置くことに賛成の方、青でお願いいたします。

(委員一同)

(そう思う 6人、そう思わない 4人)

(会 長)

図書館は児童館の傍にあった方が良くということについて、敷地がない

ということでしたが、ご意見如何でしょうか。

(委員)

子どもは落ち着きがないので、騒いで、本当に図書館を利用したいと思って来ている人にとっては迷惑がかかり、棲み分けるべきだと思う。

(会長)

中央図書館と分館、これについては如何でしょうか。

(委員)

沢木地区と幌内地区の人が、サービスの置き去りにされると思ったんですが、出前サービスで対応可能なので無理にやらなくても良いと思う。

(委員)

学校開放で、図書を持ってくるというのはどうでしょうか。

(委員)

沢木地区と幌内地区へは、移動図書館が実施されています。

(会長)

複合・文化的拠点を考えるということについて、図書館を核にしてということでありました。これについてご意見をお伺いしたいと思います。

(委員)

これは、図書館機能だけではなく、その他の機能も備えた方が良いという意見がありました。先日、ラジオで聞いたのですが、大きな図書館を作ることを変更したという、ある小さな町がありました。過疎化がどんどん進んで、5年後、10年後、20年後を考えた時、人口が半減する恐れがあり、図書館ばかり大きくてどうするのかということになったというものです。図書館がメインなんだけど、そこに行ったらもちろん本があり、村民がたくさん集まるようになり、なぜ、集まるかという、色々な多機能な施設を作る選択肢を選ぶのは行政ではなく村民だということで、それを考えるために集まったということでした。なるほどなと思って聞いていました。考える会を図書部会みたいにして、考えていくのも良いと再確認したのでお話ししました。

(委員)

文化的拠点ということで、先ほど、開館時間の話もありましたが、今の図書館の開館時間は夜7時までですので、夜9時まで会議ができるような場所といっても、町民センターもありますので難しいのでは。

(委員)

他の施設との連携を工夫していけばということもありますが、図書館に限った機能というのも必要だと思う。

(委員)

ここでハード面が出てきているのは、施設面でのことを言っているんですか。サービスとか時間的なことがどうかではなく、複合的な文化拠点

にするための部屋が必要だという意味で、ハード面に入れているんですか。ハード面が出てきているということは、部屋が必要だとか、施設が必要だという理解でよろしいんですね。

(委員)

ソフト面も関係してくるので、中々言い切れないと思う。

(委員)

これは非常に重たい問題なので、ここで考えないといけない部分というのは、将来的に人口の構成比の部分をしっかり押さえた中で結論を出された方がいいのかなと思います。これは一旦保留にして、雄武町の将来像、人口推計も出ていますので、それをもとに、もしかすると半分は出前になってしまうかもしれませんね。統計上では。

(会長)

それでは、これは保留にして、データのものを集めてということによろしいですか。

次に、図書館の周りには花壇を作ってということで、花を植える、機能優先、これについて如何ですか。これはよろしいですね。

続いて、ハイカラということについて、ご意見をいただきたいと思いません。

(委員)

このハイカラというのは、今風な図書館という意味では。

(委員)

見た目が格好いいということでは。

(委員)

都会的なものにするか、経済的なことを考えるかによります。

(委員)

今の雄武の図書館は、図書館らしくないという声もあります。

(会長)

アドバイザーから、納本条例が必要だという助言がありました。納本条例が必要だと思う方、青をお願いします。

(委員一同)

(そう思う 11人、そう思わない 0人)

(会長)

最後になりますが、新築するかどうかについてですが、今日この場で決めた方がいいのか、決めなくてもいいのか、如何でしょうか。

(委員)

ここでは、理想の図書館をということと言いつ放しでいいと思う。その理想を実現するために機能的な部分で、既存の施設を改良するのか、新築するのか、予算的なことをどうするかということもあるので。

(委員)

決めなくていいんですか。決めてくれと言ってるんですよ。それで集まっているんですよ。こんな図書館があったらいいけども、あとは考えてねということでもいいんですか。決めるということを前提に始まったんじゃないですか。決めなきゃいけないんですよ。

(教育長)

建てるとしたら、どういうものがいいんですかということです。

(委員)

建てないというのも選択肢の1つで、建てるとしたらこんなのがいいということで話し合ってきたんだから、建てるか建てないかを決めないで、こんなのがあったらいいなではダメなんじゃないですか。皆さん、建てるという方向で話し合っているんですよ。

(委員)

あと1回会議があるでしょ。その時に、今の話を出せばいいんじゃないですか。今日も色々な意見も出されていますし。

(会長)

それでは、数になってしまいますが、多数決で決めるということではなく、何人の方が賛成でという意味で数を把握するために、皆さんのご意見をお聞きするということによろしいですか。

(委員)

建てるのをやっぱりやめましょうという提言もあるんでしょうけど、何か提言しなきゃいけないんですよ。今日決めなくてもいいですけど。この会は提言するために集まって、こういう施設がいいですよという話を今までさんざん話し合ってきたんだから。いろいろな問題も出てきましたが、今の雄武だったらいらぬという提言もあるでしょうし、やっぱりこんな風にしたい、あんな風にしたい、だから建設するという提言をしますと。会としては、どちらかの提言はしなければならないと思う。

(委員)

今日の会議の流れは次回の会議に活きると思うし、それが終わった段階で、皆さんの意見を聞いてまとめるべきだと思う。

(会長)

それでは、次回に話し合っで決めるということによろしいですか。

(委員一同)

はい。

(会長)

それではこれで、第6回雄武町図書館を考える会会議を終わります。ありがとうございました。